

令和1年度事業報告書

社会福祉法人恵泉会

作成令和2年5月29日

1. 目的

社会福祉法のもと、老人福祉を実践すると共に、介護保険法の指定介護老人福祉施設および、指定居宅事業者として、介護を必要とする高齢者へ各種の介護サービスを提供し、地域の老人福祉に貢献することを目的とする。

2. 基本方針

2-1 以下の事業を行った。

- (1) 第一種社会福祉事業（指定介護老人福祉事業）
指定介護老人福祉施設 菊水園
- (2) 第二種社会福祉事業（指定居宅サービス事業）
 - ① 短期入所生活介護事業所 菊水園ショートステイセンター
 - ② 通所介護事業所 菊水園デイサービスセンター
 - ③ 介護予防通所介護事業 菊水園介護予防デイサービスセンター
 - ④ 地域密着通所介護事業所 菊水神郷デイサービスセンター
 - ⑤ 介護予防通所介護事業 菊水神郷デイサービスセンター

2-2 以下の4Sを追求することを基本理念とした。

- (1) 利用者満足（高齢者の多彩な要求にこたえる）
- (2) 職員満足（働き甲斐、やりがいのある職場とする）
- (3) 地域満足（地域の高齢者及び家族が安心して老後を暮せるよう努力する）
- (4) 安全（事故のない事業を行う）

3. 法人経営の方針

- (1) 理事会の決定に従うとともに関係法令通知の基準に則し、適正な法人経営に努めた。
- (2) 関係機関との連絡調整に努め、地域社会との協調を図った。
- (3) 資産の管理および会計の処理については、定款並びに経理規程に従って適正な管理に努めた。

4. 理事会の開催と監事監査、評議員会、評議員選任解任委員会の開催

- (1) 理事会を年5回開催した。主要議事内容は次のとおり。

第1回 令和1年5月4日
地域密着特養建設入札参加者の選定
理事候補について

恵泉会

- 第2回 令和1年6月1日
平成30年事業報告、同決算報告
定時評議員会日時決定
菊水ビラ建設経過報告
- 第3回 令和1年6月22日
理事長の選任
評議員選任・解任委員会、委員の選任及び評議員の選任
就業規則の一部改正
菊水ビラ入札報告
菊水デイ指導監査報告
- 第4回 令和1年11月16日
就業規則の一部改正
事業中間報告
菊水ビラ建設経過報告
法人指導監査報告
- 第5回 令和2年2月29日
補正予算審議、
令和2年度事業計画および予算審議
経理規程一部改正
就業規則一部改正給与規則含む

(2) 5月理事会の前及び県の監査の前に監事により監査をうけた。

- ① 理事の業務執行状況
- ② 法人経営状況

(3) 評議員会を1回開催した。

- ① 第1回 令和1年6月18日 定時評議員会
役員の選任
平成30年決算書類の承認
役員報酬の額
定款の一部変更

(4) 評議員選任解任委員会を開き評議員2名を選任し総勢7名とする。

5. 本年度事業

5-1 法人全体

本年度は菊水ビラ建設の年となり、以下の通りの事業を行った。

- (1) 5月上旬入札用設計完了
- (2) 5月中旬地元建設会社5社を召集し入札開催。結果伊藤工務店に建設業者決定。

恵泉会

- (3) 農地の宅地化工事を経て12月建設着工。令和2年3月末日工事完了
- (4) 令和2年4月開所をし大々的なオープニングセレモニーを行うところコロナ騒動で自粛とした。実際には4月20日に第一番目の入所者を迎え入れた。

5-2 指定介護老人福祉施設 菊水園

- (1) 介護職員の負担軽減、環境整備のため全手動式ベッドを低床電動ベッドに入れ替えた。結果としてベッドからの転落が減った。
- (2) 腰痛防止のために介護アシストロボットを数台導入する予定で検討したが適切な製品がなく引き続き検討する。
- (3) 利用者の見守り介護作業軽減のためインターネットカメラの導入を行いIT技術の活用に取り組んだ。結果として居室内での利用者の事故防止に役立った。
- (4) 重度認知症高齢者の介護手法の確立に努め、認知症介護の外部研修参加の充実を図った。
- (5) 既存設備の老朽化に伴いチェアーバスの入れ替えを行った。費用は共同募金から100万円の補助をもらい残りを自己資金で賄った。

(6) 感染症予防対策の充実

本年度もインフルエンザ封じ込めに成功した。

疥癬に関してはショート利用者の持ち込みにより蔓延しかけたが利用者の個室対応、入居者からの分離、掃除、室内の空気の入替え、シーツの交換、布団干しを頻繁に行い消毒に努め蔓延を防いだ。

(7) コロナウイルス対策

職員の就業前健康管理の徹底

在宅サービス提供利用者の利用前健康管理の徹底

マスク着用、手洗いの徹底

在宅利用者と入所利用者の分離

食前、食後のテーブル、椅子の清掃（アルコールが切れてからは塩素系洗剤による消毒実施）

以上の結果現在のところ感染者を出してはいない。

5-3 短期入所生活介護事業所 菊水園ショートステイセンター

- (1) 基本的には特養の事業計画と同じ。
- (2) ショート利用者はアセスメント力が低下し、利用者の想定外の行動があり事故につながりやすいので十分な受け入れ時調査を行った。
- (3) コロナ発生後は特に受け入れ調査を重要視した。
- (4) 令和2年4月からは受け入れを3名とするため、各事業所の協力を仰いだ。

恵泉会

5-4 通所介護事業所 菊水園 デイサービスセンター

- (1) 延べ利用者数の減少が続いている。
- (2) 基本的に社会福祉法人系統以外のサービス提供事業者が多くできたこと、当園が得意としてきた重度利用者が老人保健施設、介護サービス付きアパートなどに入居し在宅で高齢者を長く抱えていく風潮が後退していることが原因と思われる。
- (3) 年後半から上記の分析、事業見直しを行い令和2年4月からサービス提供日を月曜から金曜日とすることにし定員も35名から25名とすることにした。

5-5 予防通所介護事業

週2-3人の利用であり今後の展望がなく、他の事業者を利用者を任せることとし、予防事業からは撤退することとした。

5-6 地域密着型通所介護事業 菊水神郷デイサービスセンター

- (1) 本事業所は地域密着型として3年目を迎え、定員15名、週4日の稼働としケアマネージャー事業所へのPRを行った。
- (2) 稼働率は1日15名を数えるようになり現在週4日稼働のところを5日にするためのスタッフ増員を検討している状況である。

5-7 その他の事業

- (1) 地域福祉の一環として独居老人の配食、見守りサービスは前年並みの利用状況であり引き続きサービスを提供する。
- (2) 紙おむつ販売事業も(1)項と同様である。

5-8 職員研修及び福利厚生

(1) 園内外研修

- ① テーマ別、グループ別に計画的に職員を研修に派遣した。
- ② 新人職員の介護基礎研修に集中した。
- ③ 経営センスのある中堅職員の育成を図った。

(2) 資格取得と福利厚生

- ① 資格取得としては以下の通り。
社会福祉主事任用資格取得：2名
介護福祉士資格：4名
すべて資格取得のための研修費は法人負担とした。
- ② 会話が苦手な職員が多い傾向にあるので、OJTによりトレーニングを実施した。
- ③ 職員厚生会を通じての職員旅行を『心のリフレッシュ旅行』は前半に北海道や北陸の温泉旅行を計画していたが、菊水ビラの建設に総務部門が忙しく後半には活動が停止し、コロナに入り移動が止まったため事業ができなかった。

- (3) 職員のメンタルストレスケアに関しては未達成であった。
- (4) 1歳半～3歳までの子供を持つ職員が増えているので離職対策として、施設内保育の充実を図るため菊水ビラ内に保育ルームを設けた。
- (5) 介護職員の処遇改善見える化を行うため令和2年4月より介護職員の基本給を2万円ベースアップし処遇改善を明らかにした。

5-9 地域福祉

社会福祉法人の基本的な活動である次の福祉活動に注力した。

- (1) 利用者家族や地域との関係強化の一環として夏祭りおよび入所者家族会を実施した。
- (2) ボランティアや施設来園者を積極的に受け入れ、施設の社会化を推進した。
- (3) 地域への働きかけ強化

子ども110番事業に引き続き参画し地域の子育て支援の一助を担う。

6. 地域密着型特養菊水ビラの立ち上げ

- (1) 本年度5月に建設工事入札、5社入札し伊藤工務店に決定。
- (2) 建設予定地の購入、敷地境界の確定、敷地の土質改良、整地および宅地化。
建設用地の確定、排水（浄化槽）の確定、受変電容量の確定など既存施設との調整が複雑で、法人として大きく時間を割いて、行政、地域自治会と話し合いをした。
- (3) 建築確認申請前に法人として設計の過剰なところを検討しコストダウンを行い入札時に未確定であったナースコールシステム、IPカメラシステム、消防設備の再検討、受変電の既存改造、浄化槽の移設などを決定し確認申請を行い、11月着工した。
- (4) 令和2年3月末竣工引き渡し
人手不足のなか伊藤工務店では、滋賀、京都の業者のみならず、三重、岐阜からも職人を集め納期を順守したことに本報告書を借りて感謝する。
また今年は雪が少なく晴天が続き工事が順調に推移したことも幸運であった。
- (5) 令和2年4月開所
3月後半になり全国的にコロナ騒ぎとなり、市長を招待しての大々的開所式を行う予定であったが開所セレモニーは断念し、文面および園内写真による挨拶、開所報告とした。
- (6) 令和2年4月20日第一号の入所者受け入れ
コロナのため入所予定者の調査および家族面談に時間がかかった。
- (7) 職員の確保としては看護師、管理栄養士、介護士等が確保され今のところ運営できているが、コロナのため思うように求人活動ができず、4月以降の採用が止まっている状態である。
- (8) 本法人退職者に声をかけているが、コロナがこわいので勤めたくない拒否されている。

恵泉会

7. 経営及び財務

包括的な報告としては以下の通りである。

詳細は決算書参照。

7-1 本部の収入

菊水ビラにおける補助金収入

7-2 菊水園拠点の収入

菊水園 前年並みで推移

菊水園短期入所 前年並みで推移

菊水園通所 10000 千円減収

7-3 神郷拠点の収入

地域密着通所介護事業

神郷菊水デイサービス 4000 千円増収

7-4 補助金収入

1) 共同募金特別浴槽補助金 1000 千円

2) その他補助金 200 千円

7-5 人件費支出

人件費が前年より1000万円アップしているが次の理由による。

1) 菊水ビラ配属要員を採用している。

2) 求職者に魅力ある給与とするため処遇改善を行っている。

7-6 事務費及び事業費支出

以下の設備投資により約1000万円程度アップ、その他経費は例年と並み。消費税アップの影響は小さい。

1) 旧型ベッドから低床ベッドへの入れ替えによる設備投資。

2) チェア浴槽の入れ替え

3) 見守りIPカメラシステムの導入

7-7 資金運用

本年は設備投資の年であり、資金の流失が多く、投資はせず。

8. 菊水ビラの建設財務

本件の収支は本部会計にて計上しているが詳細は決算書による。

基本的には予算内で建設及び備品の手配が行われ、東近江市から規程の補助金をいただいた。